

Title	環境問題と企業行動の変革 - 社会システムのMetamorphosis概念 -
Sub Title	
Author	中谷智(Nakatani, Satoru) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1991
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1991年度経営学 第863号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001991-0863

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	中谷 智 (鐘淵化学工業株式会社)	主査 高木 晴夫 副査 古川 公成 田中 滋
所属	高木 晴夫 研究室	

環境問題と企業行動の変革 -社会システムの"Metamorphosis" 概念-

環境問題を企業の立場からみると、企業環境を大きく変える危機と捉えることができる。ところが、この危機は今までのものと違って、企業環境を取巻く社会システムそのものを根底から覆すほどの重大な問題である。

本論の目的は、環境問題を引き金に社会システムが将来において大きく変容する過程にあるという想定（本論では、この過程を社会システムの"Metamorphosis"と呼ぶ）のもと、今後の社会システムの変質により企業環境がどのように変わり、現状の企業の行動上の問題点は何かを探ることにある。

具体的には、将来起こるであろうと予想される社会システムの変質（"Metamorphosis"）がどのようなものかを明確にし、日・米・欧という3つの社会システムを比較しながら、環境問題に対応した新しい社会システムの方向性と企業の行動の変革すべき課題を明らかにした。おそらく競争の時代は終わり、新しい局面での競争（例えば、技術競争やエネルギー効率競争）と他の社会システムのサブシステム（例えば、政府、地域社会、市民団体、取引企業など）との協調の時代が来るであろうと予測する。

日本社会及び日本企業の今後の課題としては、他の社会システムのサブシステムとの協調関係が欧・米に比べると弱く、このため社会システムが環境保全型になっていないという問題が指摘できる。